

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	飯南町 (32386)
地域名 (地域内農業集落名)	下赤名 (東上、張戸、東下、千束、中通、石次、福田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	105.86 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	105.86 ha
② 田の面積	103.14 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.72 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.00 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	8.18 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

集落内農地所有者9戸、集落外農地所有者1戸、計10戸のうち9戸は集落外の法人・担い手に全面委託し、水稻・大豆の生産が行われている。集落内で自作者は1戸のみとなり、今後について受託者側の高齢化もあり農地維持が課題となっている。(東上)

張戸地区の10軒のうち3軒が個人で農業を行っている。その他は「担い手1」へ作付けを依頼しており、水稻生産を行っている。他地区同様に高齢化が進んでおり、個人でできない方は「担い手1」に依頼をしている。個人で営農をしている方も草刈り作業等の重労働に対する負担感を感じている。山の中にイノシシ柵を設置し、春先に点検しているものの、近年はイノシシや鹿等の獣害が深刻化している。個人経営では、農機具が高額化、大型化している状況の中、今の農機具が故障した場合には次の機械を購入してまで農業を続けていくのかは深刻な問題である。(張戸)

地区外の耕作者が大半である。以前から後継者不足が予測されたため、耕作依頼がしやすいように地力UPを目的に既に2回純鉄粉を散布している。また、耕作者の効率化のため畦畔草刈りが引き受けられるよう、中山間直払事業の加算措置で斜面草刈機を5台購入しオペレーターに貸与している。耕作面積の60%以上の草刈りを行っている。(東下)

個人農家及び認定農業者2名(内地区外1名)で水稻を中心に、そば・大豆、園芸作物を作付している。高齢化により栽培管理が出来ないときは、認定農業者へ利用権設定している。認定農業者も限界が来ており、新たな担い手を確保する必要がある。(千束・中通)

集落内はほぼ平坦地である。山際の水田ではイノシシ被害防止のため電気柵を設置している。農業従事者の高齢化が進んでいる。(石次)

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

今後は近隣他集落と多面的機能等日本型直接支払制度との関連や機械の共同利用など検討し、水稻等土地利用型作物の生産維持を図っていく必要があると思われる。(東上)  
新たな担い手の確保(地区外からの方も含めて)、作業や農機具の共同化。(張戸)  
耕作者の大半が個人であり、将来的には農事組合法人への農地の集積・集約化の必要がある。地区ごとに高収益野菜等も視野に入れるべきである。(オーガニック野菜等)(東下)  
地区外を含めた認定農業者を中心とした受け皿体制を構築し、農地の維持を図る。(千束・中通)  
現在集落内で耕作されている認定農業者の方に依頼する。(水稻・大豆・ソバ)(石次)

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
当面は現状を維持しつつ、一方で他集落との連携・共同を検討する必要がある。(東上) 地域の皆さんや担い手の方と協力し農地の保全に努める。(張戸) 農事組合法人への農地の集積・集約化を図り、集落内の農地の保全に努める。(東下) 認定農業者への集積が大半を占めており、少数の個人経営でできるところまで農地の管理をしていくが、担い手不足の状態になれば、新たな受け皿を模索する。(千束・中通) 将来的には再圃場整備を行い集約化する。(石次)					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	55	%	将来の目標とする集積率	75	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
担い手への集積・集約化は83%に及んでおり、当面これを維持しつつ、課題を踏まえ設定目標を見据えた取組を進めていく。(東上) 農用地の集団化(集約化)についての話し合いはまだ行われていない。(張戸) 個人の耕作者の後継者不足もあるので、農事組合法人を中心に農地の集積・集約化を図る。(東下) 高齢化により担い手不足の中、法人設立しても維持管理が不安であるため、現状維持または認定農業者への集積を推進しつつ、状況を見ながら新たな担い手を模索する。(千束・中通) 再圃場整備を行い100%とする。(石次)					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
関係機関とも相談し、近隣集落との連携・共同の方法を模索し、現状の生産を維持していく。(東上) 地区を越えての集積、集団化の検討。(張戸) 耕作者の経営方針があり、強力なリーダーシップが必要である。(東下) 関係機関と連携し、荒廃しないよう受け皿を確保する。(千束・中通) 補助率の高い事業を利用して圃場整備を行う。(石次)
(2)農地中間管理機構の活用方法
今のところなし。(東上) 農地中間管理機構の制度について不勉強であり、活用できるのであれば検討したい。(張戸) 強力なリーダーシップが必要であるので、法的な後ろ盾が必要である。(東下) 農地中間管理機構を通じて行う。(千束・中通) 今後農地の貸借が発生した場合、農地中間管理機構を通して行う。(石次)
(3)基盤整備事業への取組
老朽化する水田暗渠・水路等、基盤の長寿命化を図る。(東上) 2年前から全水田を暗渠排水の再整備を実施。来年度には全ての水田が完了する。(張戸) 基盤整備はある程度進んでいるので、維持補修を進める。(東下) 段階的に用排水路の改修を図る。管理者の意向次第では、補助事業による基盤整備を検討し、作業効率の向上を図る。(千束・中通) 集落内の話し合いを進め、全員参加するよう取り組む。(石次)
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
当面は2の目標向け、検討・模索を行う。(東上) 個人で作付けができなくなったときには関係機関と連携し、新規就農者や担い手を募集し、早期に移行できる体制作り。(張戸) Iターン、Uターンを推し進める。(東下) 当面は現状維持とし、地区内外から、新たな担い手を募集していく。(千束・中通) 集落内の話し合いを進める。(石次)
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
今のところなし。(東上・張戸) 耕作者の一部は、田植えから出荷までの一連の作業を委託なしで行っているため、経営の合理化を図り、分業化を強力に推し進める。(東下) 中山間直接支払事業によるドローン防除、刈取り幹旋(個人一部)、乾燥調製(個人)をJAへ委託している。(千束・中通)

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策

隣り地区の安江から東区上の旧赤名スキー場までの山の中にワイヤーメッシュで囲み、毎年春に地域の方全員で見回り点検や修繕に取り組み、イノシシ被害の予防を実施している。今後も取り組みを継続していく予定。(張戸)  
イノシシ対策として電柵を設置している。(千束・中通)

②有機・減農薬・減肥料

比較的他所に比べると立地条件は良いと思うので、有機・減農薬・減肥料等で付加価値の付いた作物を作る。(東下)

一部減農薬・減化学肥料での水稻栽培を行っている。(千束・中通)

肥料農薬の高騰に対応し、地球にやさしい農業を目指す。(石次)

③スマート農業

ドローンによる共同防除(水稻、大豆)を行っている。(千束・中通)

⑧農業用施設

リースハウスを活用した園芸作物を栽培している。(千束・中通)

⑨耕畜連携等

一部農家で稲わらと牛糞堆肥散布の交換をしている。(千束・中通)



4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 担い手1	水稲、大豆、そば	24.24 ha	0.00 ha	水稲、大豆、そば	24.17 ha	0.00 ha	1	
2	認農 担い手2	大豆	1.20 ha	0.00 ha	水稲、大豆	0.82 ha	0.00 ha	2	
3	認農 担い手3	水稲、そば等	1.91 ha	0.00 ha	水稲、そば等	1.91 ha	0.00 ha	3	
4	認農 担い手4	水稲、そば	15.62 ha	0.00 ha	水稲、そば	15.92 ha	0.00 ha	4	
5	認農 担い手5	水稲	3.77 ha	0.00 ha	水稲	3.77 ha	0.00 ha	5	
6	認農 担い手6	牧草	0.16 ha	0.00 ha	牧草	0.16 ha	0.00 ha	6	
7	認農 担い手7	いも	0.37 ha	0.16 ha	いも	0.53 ha	0.00 ha	7	
8	認農 担い手8	野菜	0.44 ha	0.00 ha	野菜	0.44 ha	0.00 ha	8	
9	認農 担い手9	水稲	2.71 ha	0.00 ha	水稲	2.71 ha	0.00 ha	9	
10	利用者 担い手10	水稲、野菜等	0.18 ha	0.00 ha	水稲、野菜等	0.18 ha	0.00 ha	10	
11	利用者 担い手11	水稲、野菜等	1.17 ha	0.00 ha	水稲、野菜等	1.17 ha	0.00 ha	11	
12	利用者 担い手12	野菜	0.01 ha	0.00 ha	野菜	0.01 ha	0.00 ha	12	
13	利用者 担い手13	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲、野菜等	0.94 ha	0.00 ha	13	
14	利用者 担い手14	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲	0.68 ha	0.00 ha	14	
15	利用者 担い手15	飼料作物	0.05 ha	0.00 ha	飼料作物	0.05 ha	0.00 ha	15	
16	利用者 担い手16	野菜	0.12 ha	0.00 ha	野菜	0.12 ha	0.00 ha	16	
17	利用者 担い手17	水稲、野菜	0.50 ha	0.00 ha	水稲、野菜	0.50 ha	0.00 ha	17	
18	利用者 担い手18	水稲	0.62 ha	0.00 ha	水稲	0.62 ha	0.00 ha	18	
19	利用者 担い手19	水稲	0.90 ha	0.00 ha	水稲	0.90 ha	0.00 ha	19	
20	利用者 担い手20	野菜	0.01 ha	0.00 ha	野菜	0.01 ha	0.00 ha	20	
21	利用者 担い手21	—	0.00 ha	0.00 ha	野菜	0.06 ha	0.00 ha	21	
22	利用者 担い手22	水稲	0.31 ha	0.00 ha	水稲	0.31 ha	0.00 ha	22	
23	利用者 担い手23	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲	1.14 ha	0.00 ha	23	
24	利用者 担い手24	水稲、野菜	1.37 ha	0.00 ha	水稲、野菜	1.37 ha	0.00 ha	24	
25	利用者 担い手25	水稲、野菜	0.67 ha	0.00 ha	水稲、野菜	0.69 ha	0.00 ha	25	
26	利用者 担い手26	野菜等	0.16 ha	0.00 ha	野菜等	0.16 ha	0.00 ha	26	
27	利用者 担い手27	水稲	1.03 ha	0.00 ha	水稲	1.03 ha	0.00 ha	27	
28	利用者 担い手28	水稲	1.08 ha	0.00 ha	水稲	1.08 ha	0.00 ha	28	
29	利用者 担い手29	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲	0.42 ha	0.00 ha	29	
30	利用者 担い手30	水稲	0.12 ha	0.00 ha	水稲	0.12 ha	0.00 ha	30	
31	利用者 担い手31	野菜	0.21 ha	0.00 ha	野菜	0.21 ha	0.00 ha	31	
32	利用者 担い手32	農業生産施設用地	0.19 ha	0.00 ha	農業生産施設用地	0.19 ha	0.00 ha	32	
33	利用者 担い手33	水稲	0.73 ha	0.00 ha	水稲	0.73 ha	0.00 ha	33	
34	利用者 担い手34	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲、メロン	0.98 ha	0.00 ha	34	
35	利用者 担い手35	—	0.00 ha	0.00 ha	野菜	0.05 ha	0.00 ha	35	
36	利用者 担い手36	水稲	0.13 ha	0.00 ha	水稲	0.13 ha	0.00 ha	36	
37	利用者 担い手37	水稲	0.98 ha	0.00 ha	水稲	0.98 ha	0.00 ha	37	
38	利用者 担い手38	水稲	1.07 ha	0.00 ha	水稲	1.07 ha	0.00 ha	38	
39	利用者 担い手39	水稲、花木	0.80 ha	0.00 ha	水稲、花木	0.80 ha	0.00 ha	39	
40	利用者 担い手40	水稲、野菜等	2.01 ha	0.00 ha	水稲、野菜等	2.01 ha	0.00 ha	40	
41	利用者 担い手41	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲	1.52 ha	0.00 ha	41	
42	利用者 担い手42	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲、野菜等	1.99 ha	0.00 ha	42	
43	利用者 担い手43	水稲、野菜等	1.40 ha	0.00 ha	水稲、野菜等	1.40 ha	0.00 ha	43	
44	利用者 担い手44	野菜、大豆	0.07 ha	0.00 ha	野菜、大豆	0.07 ha	0.00 ha	44	
45	利用者 担い手45	水稲、いも等	0.48 ha	0.00 ha	水稲、いも等	0.48 ha	0.00 ha	45	
46	利用者 担い手46	水稲	1.65 ha	0.00 ha	水稲	1.65 ha	0.00 ha	46	
47	利用者 担い手47	—	0.00 ha	0.00 ha	水稲	0.37 ha	0.00 ha	47	
48	利用者 担い手48	水稲、野菜等	1.04 ha	0.00 ha	水稲、野菜等	1.04 ha	0.00 ha	48	
49	利用者 担い手49	水稲、野菜	0.83 ha	0.00 ha	水稲、野菜	0.83 ha	0.00 ha	49	
50	利用者 担い手50	水稲	0.89 ha	0.00 ha	水稲	0.89 ha	0.00 ha	50	
51	利用者 担い手51	水稲、野菜	0.93 ha	0.00 ha	水稲、野菜	0.93 ha	0.00 ha	51	
52	利用者 担い手52	水稲	0.69 ha	0.00 ha	水稲	0.69 ha	0.00 ha	52	
53	利用者 担い手53	水稲	2.32 ha	0.00 ha	水稲	2.32 ha	0.00 ha	53	
54	利用者 担い手54	野菜、小豆	0.07 ha	0.00 ha	野菜、小豆	0.07 ha	0.00 ha	54	
55	利用者 担い手55	水稲	1.17 ha	0.00 ha	水稲	1.17 ha	0.00 ha	55	
56	利用者 担い手56	水稲	1.08 ha	0.00 ha	水稲	1.08 ha	0.00 ha	56	
57	利用者 担い手57	水稲、メロン	1.97 ha	0.00 ha	水稲、メロン	1.97 ha	0.00 ha	57	